

第14回かごしまジュニア検定 模範解答

問1. ①

【解説】鹿児島県の面積は約9,187 km²(テキスト P2)。全国で10番目の広さとなっています。

問2. ②

【解説】鹿児島県から上海(中国)までの距離は約860 km(テキスト P2)。現在は、コロナウイルスの影響で運休となっていますが、20年前の2002年に鹿児島 - 上海間の飛行機が就航しました。

問3. ①

【解説】屋久島は1993年に日本初の世界自然遺産に認定されました(テキスト P3)。2021年には奄美大島と徳之島が沖縄県の一部とともに世界自然遺産に認定されています。

問4. ②

【解説】鹿児島県には、活火山が11あります(テキスト P4)。この数は全国に110ある活火山のうち1割を占めています。

問5. ③

【解説】鹿児島県の県木はカイコウズとクスノキです(テキスト P5)。カイコウズは別名アメリカデイゴといい、花言葉は「夢」「活力」などです。

問6. ①

【解説】出水平野には、ナベヅルやマナヅルなど一万羽ものツルが渡来します(テキスト P6)。2021年に、県内3つ目となるラムサール条約に登録されました。

問7. ①

【解説】惟宗忠久は源頼朝から、薩摩・大隅・日向(鹿児島県と宮崎県の一部にあたる地域)の守護職を与えられました(テキスト P7)。肥後は今の熊本県、豊後は今の大分県にあたります。

問8. ②

【解説】薩摩藩は岐阜県などを流れる木曾・長良・揖斐川の治水工事を行いました。このことがきっかけで、岐阜県と姉妹県になっています(テキスト P7)。治水工事で犠牲となった薩摩藩士を弔う薩摩義士碑が、城山町黎明館の近くにあります。

問9. ③

【解説】島津斉彬は、日本初の日本人による写真撮影の被写体になっています(テキスト P8)。斉彬が撮影された銀板写真は、国の重要文化財に指定されています。

問 10. ③

【解説】西郷隆盛と政府軍が衝突した内戦は、西南戦争です(テキスト P9)。城山町にある私学校跡の石垣には、西南戦争の時の銃弾の跡が数多く残っています。

問 11. ③

【解説】大久保利通は明治維新後、初代内務卿になりました(テキスト P10)。内務卿としての大久保利通は、富岡製糸場の創始など、殖産興業による日本の近代化に向け尽力しました。

問 12. ①

【解説】小松帯刀は若くして薩摩藩家老に抜擢され、薩長同盟の成立や大政奉還に力を尽くしました。「幻の宰相」とも呼ばれています(テキスト P10)。

問 13. ①

【解説】薩摩藩の子弟教育は、「郷中」とよばれる一定の区域ごとに行われました(テキスト P11)。

問 14. ③

【解説】椋鳩十は県立図書館館長を務め「母と子の 20 分間読書運動」を提唱しました。動物文学や児童文学を手掛ける作家でもあり、代表作に「片耳の大シカ」「マヤの一生」などがあります(テキスト P11)。

問 15. ②

【解説】闘鶏用に飼育されてきた薩摩鳥は、鹿児島県が長年品種改良を重ねて現在の「さつま地鶏」になりました(テキスト P12)。1971年にさつま若しゃも、2000年にさつま地鶏、2006年に黒さつま鶏を開発しています。

問 16. ②

【解説】黒豚は全身真っ黒ですが、前足 2 本、後ろ足 2 本、鼻、しっぽの 6 か所だけが白く、「六白」と呼ばれています(テキスト P13)。人気が高まるにつれてニセ物が横行し国が規制を強化したため、店頭で黒豚と表示できるのは、この六白と呼ばれるバークシャー種の肉だけです。

問 17. ③

【解説】稲盛和夫氏は、1984年に人類社会の進歩発展に功績のある人々を表彰する国際賞「京都賞」を設立しました。また、1959年に京都セラミック株式会社を設立しています(テキスト P14)。

問 18. ②

【解説】鹿児島県産のサツマイモと水を使い、県内で製造された焼酎だけを「薩摩焼酎」とする、ブランドづくりが行われています(テキスト P15)。

問 19. ①

【解説】「桜島フェリー」は鹿児島港 - 桜島港を約 15 分で結び、24 時間運航しています(テキスト P16)。

問 20. ③

【解説】寺田屋で襲撃を受けた坂本龍馬は、妻のお龍とともに鹿児島の霧島の温泉地で傷を癒しながら過ごしました。これが、日本で最初の新婚旅行といわれています(テキスト P17)。霧島市の塩浸温泉龍馬公園の資料館には、新婚旅行について書かれた龍馬直筆の手紙が展示されています。